

平成 25 年度 第 2 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

- ◆日 時：平成 25 年 11 月 20 日（水）（13：45～16：45）
- ◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室
- ◆出席者：大西委員、前川委員、湯口委員、吉川委員（座長）  
事務局：山下、谷口、塚本、北村

| 発言者 | 発言概要   |
|-----|--|
| 事務局 | <p>■委員 1 名が遅延されているが、過半数の委員の出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認<br/>⇒傍聴人なし。</p> <p>■事務局配布資料の確認<br/>⇒（資料 7）（資料 8）の差し替え</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■前回（第 1 回）会議の議事録の確認。（遅延されていた委員が到着）<br/>⇒一部、語句を修正する。</p> <p>■前回会議の振り返り</p> |
| 委員  | <p>地方自治法（以下、「法」）改正後に、総合計画を策定している大阪府下の具体的な自治体名が知りたい。</p>  |
| 事務局 | <p>泉南市、阪南市、能勢町が策定している。<br/>いずれの自治体も策定期間中に法改正が行われている。</p>   |
| 委員  | <p>事務事業評価が行われている事業数について確認したい。</p>  |
| 事務局 | <p>平成 24 年度事務事業の施策別分類（資料 8）の最終ページのとおり、全事業数が 887 事業。<br/>そのうち、人件費事業や法定事業等の理由から評価対象外としている事業を除いた評価対象事業数が 615 事業。<br/>事務事業評価の運用として、各課 10 事業程度を実施することとしており、評価対象事業 615 事業のうち、実際に評価を行っている事業が 291 事業となっている。</p>                  |
| 座長  | <p>■各施策の進捗状況の確認<br/>フォローアップシート①を中心に、基本計画第 1 章の進捗確認を行いたい。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>・フォローアップシート①（資料2）について説明<br/>各事業の実施段階における、基本計画第1章「3つの市民参加のしくみづくり」（以下、「3つのしくみづくり」。）</p> <p>第1節 さまざまな立場の市民が行政活動に参加できるしくみづくり<br/>第2節 行政職員の市民意識の理解を促すしくみづくり<br/>第3節 市民と行政の協働を推進するしくみづくり</p> <p>の年度別の取組み状況をまとめた表で、新たな取組みや変化があった部分はアンダーラインで表現している。</p> <p>（追加部分の主な取組み例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 分類1番『フェイスブック、ツイッター等SNSの活用について検討』<br/>16番『まちづくり講演会「まち再生の現状と課題」』</li> <li>・第2節 分類20番『民間企業への職員派遣研修』<br/>21番『職員と市民公益活動団体が共に参加する研修を実施』<br/>25番『町総代会理事会と各課との意見交換会（交流会）』</li> <li>・第3節 分類29番『地域別防災訓練等補助金』<br/>『地域に応じた地域公共交通を考えるモデル地区募集』</li> </ul> <p>などを例示。</p> |
| 座長  | <p>3つのしくみづくりについての進捗確認の方法は、過去の本会議でも議論をしたことだが、概念的な部分を捉えつつ、一覧化された取組みを確認するということになる。</p> <p>5年間のデータ蓄積の状況を見れば、結果として、関連する取組みは増えており、行政が3つのしくみづくりを意識して取組みを行っているという評価できるものと思われる。</p>  |
| 委員  | <p>本会議資料は、市民が見て、行政と共に行政課題を考えられるようなものにしていくことが必要ではないか。</p>  |
| 座長  | <p>本会議資料は、市民へ公開されているか。</p>  |
| 事務局 | <p>会議資料（非公開資料を除く）、会議録、報告書を市ウェブサイトにおいて公開している。</p>  |
| 委員  | <p>行政の情報公開に対する意識は進んでいると感じるので、次のステップとして、市民が関心を持つことができる情報公開の方法を考える必要があると思われる。</p>   |
| 委員  | <p>市政への関心度は個人差が大きいと思われる。</p>  |
| 委員  | <p>市政への関心を高めるために、特典を与えるような取組みを行っている自治体はあるか。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | モニター制度を実施し、謝礼を渡す自治体があると聞いている。   |
| 委員  | 何事も、受け手側を意識して実施することが重要だと感じる。  |
| 座長  | <p>情報公開においては、義務的な公開に留まるのではなく、民間企業的な発想やマーケティングの視点を持つことに加え、市民に理解してもらうための視点や姿勢、積極的なアクション等のひと工夫によって、付加価値が生まれるものと思われる。</p> <p>また、公開した情報に対し、市民がどう考えているのかというフィードバックがあっても良いと思う。</p>   |
| 委員  | これまでは行政内部の意識醸成を求める気持ちが強かったが、市民がどう受け止めるかは大事な視点と感じる。  |
| 座長  | 報告書では、進捗についての評価と、今の議論を整理した上で報告したい。  |
|     | ～ 休 憩 ～   |
| 座長  | 基本計画第2章について、計画期間中にどのような取り組みが行われたのか、基本計画に示された「方向と目標」に沿った取組みがなされているか等について、確認していきたいが、確認方法について事務局案の説明を求める。  |
| 事務局 | <p>事務事業評価表を活用した進捗確認を提案したい。</p> <p>基本計画第2章については、事業数が膨大であり、全ての事業を点検していただくことは物理的に困難だと思われるため、事務事業評価を実施している事業のうち、昨年度までに点検いただいた事業に、第1回会議で議論があった計画期間内での総事業費が大きい事業を中心に、基本計画第2章の「節」における特徴的と思われる事業を加え、「項」単位で全19事業を事務局で抽出した。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>例：節→「第1節 平和ですべての市民が互いに尊重しあえるまちをめざす」</p> <p>項→「1 平和を希求する多文化共生のまちづくり」</p> <p>「2 だれもが平等で尊重されるまちづくり」</p> <p>「3 男女共同参画社会の形成」</p> </div> <p>これまでは成果指標の設定方法など、主に評価表の作り方を点検していただいたが、今回はそれも含め、主としては事務事業評価の内容から、市でどのような取り組みが行われているのか、総合計画で示された方向に沿った取り組みとなっているのかといった視点で、基本計画第2章の「節」単位での進捗確認をしていただければと思う。</p> |
| 座長  | 事務局案に意義はないか。<br>(意義なしの声あり)  |

|     |   |
|-----|---|
| 座長  | 事務局案に意義ないので、資料の配付と説明をお願いします。  |
| 委員  | 施策体系順に前から点検していくのが定例だが、これからは商業や産業振興、地域活性化等の視点が重要だと思われるので、それに関連する事業から点検してはどうか。  |
| 座長  | 委員の意見を採用し、本日は第5節以降の事業から点検する。  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務事業評価表の見方説明</li> <li>• 第5節第1項から「公害対策事業」の概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的：「二酸化炭素の排出量削減」</li> <li>成果指標：「二酸化炭素の排出量削減の目標値（基準に対する必要値）」</li> <li>活動指標：「環境家計簿の配布数」</li> </ul> </li> </ul>  |
| 委員  | <p>成果指標については、平成22年度を基準とした削減率で表されているが、基準となる値を明記し、年度ごとの数値も読み取ることが可能となれば、より分かりやすいものになるのではないかと思われる。</p> <p>また、平成24年度の成果指標予定（目標）値を達成できなかった理由として、大震災による原発事故に伴い、火力発電が主流となり、二酸化炭素排出量が増えたことが記載されているが、大震災の状況下では、予定（目標）値を達成できなかったことだけに着眼するのではなく、指標設定そのものを見直す視点も必要であるし、そういった社会問題を受けて、市として再生可能エネルギーに対する見解が生まれてこなければならぬのではないかと思う。</p> |
| 事務局 | 公害対策事業の中では、太陽光発電設備設置補助も行っているが、担当課で指標を設定する際に、環境問題は行政主導ではなく、市民と一緒に考えていくものであるという視点のもと、代表的な活動として環境家計簿の配布を選んでいるものと思われる。  |
| 委員  | 二酸化炭素排出量の削減については、個人の排出量を減らす取り組みも大切だが、企業へ目を向けることも効果としては大きいかと思う。  |
| 座長  | <p>ひとつの事業の中の様々な取り組みの結果として、二酸化炭素排出量の削減があるのだが、活動指標が「環境家計簿の配布」だけであると、それだけを行う事業のように誤解されることが懸念される。そのため、代表的な活動指標の選定は慎重に行っていただくとともに、3つまで活動指標設定できることを有効に利用することも得策であると考えている。</p> <p>指標設定は、原発事故のような大きな社会情勢の変化があった場合は、それに応じて変えていく柔軟性を持つことが望ましい。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5節第2項から「公園管理事業」の概要説明</li> <li>事業目的：「安全・安心・快適な公園環境の提供」</li> <li>成果指標：「市民アンケートにおける満足度」</li> <li>活動指標：①「公園愛護会等公園清掃参加人数」、②「公園愛護会数」</li> </ul> |
| 座長  | 事業の「必要性」の区分が「B」となっているが、「A・B・C」の意味を聞きたい。  |
| 事務局 | 担当課での自己評価であるが、マニュアルにおいて市民にとって必要性が増している場合は「A」、従来どおりの場合は「B」、必要性がなくなっている場合は「C」と区分としている。   |
| 座長  | <p>次回も引き続き事務事業評価表を活用した進捗確認を行いたい。</p> <p>今年度のフォローアップ会議は、会議3回と市長報告の全4回を当初予定していたが、会議4回と市長報告の全5回に変更することは可能か。</p>   |
| 事務局 | 可能。第3回会議の進捗状況に応じて、第4回会議の実施の有無について決めていただければよい。  |
| 座長  | <p>予備日として、第4回会議を実施する場合は平成26年1月22日（水）とする。</p> <p>次回の日程確認をして終了<br/>（第3回：平成25年12月25日（水）午後1時30分～）</p>  |